



現在	2,070	世帯数
令和6年1月1日	4,795	人口
総世帯	2,367	人
総人口	2,428	人
		男女

アルウィン西に産業団地を町会離れを防ぐ町会運営を興味を持って貰える何かを考えたい

上條 温氏
藤牧 一嘉氏
山本 憲一氏



左から藤牧氏、上條氏、山本氏

今回は正月挨拶文を止め、御三方の取材記事にしました。先ず上條温相談役からです。

毎年正月にしていることはありますか。

神林神社と自宅にある祠で、郷土の護り神に新しい年の安寧を祈り参拝しています。

神林が変貌していく姿を描かれたことはありますか。

神林は地形も、人間も円い。将に「神林の歌」のようにいい所に生まれたと思う。地形的なものも大切だと思う。

今一番力を注いでいること

とは何ですか。

神林に産業団地を、アルウインの西側16haに造ろうとしています。松本市の経済活性化と雇用の創出を目指し産業振興を、臨空が完売し、次の手を考えるべきと提案し実現に向けて動いています。

次に藤牧一嘉連合町会長(川東)に伺いました。

コロナ禍が静まり各町会の動きはどうでしたか。

全町会とも、これ迄出来なかった事が廻りだしました。色んな考えを頂いて多くの参加者があり良かった。川東町会は、3月に落成予定の公民館竣工式を迎え、住民に内覧会を行います。

今町会の離脱者が増えていますが、どう対処されていますか。

高齢により、役員はしたくないし、年金生活で生活が大変だから脱会したいと言われる。神林は世帯数も、人口も増えているが、町会入会者は減っている。集合住宅がある所は大変で市からも入会を増やせと言ってくる。町会離れをいかに防ぐか、町会に入っ

て貰えないと基本的な原資が不足し、いかに町会を維持していくのか運営にも問題がある。また、町会入会金の事も各町会各々で、多くの問題もあり難しく町会費だけでもいいのではという考えもある。

最後に山本憲一(下神)公民館運営委員長に伺いました。

スポーツフェスティバルは今のままでよいか。

運動会を止めた時の経過を見れば、前向きに考えた良い方策です。生活環境が変わり町会対抗に人が集まらない。球技大会は、自分のモチベーションを上げようとしているのでやった方がよい。

文化祭のゲストについて。ゲストに関しては知識人の講演ではなく、経費をかけるので合唱、ブラスなど公民館活動をしている所から招く方が第一で、それを神林の方々に知って、楽しんだほうが良い。出前講座もあるが土日はやらないので難しい。

正月飾り作りと
星空観察会



12月17日(日)に神林公民館にて38名の参加で正月飾り作りが開催された。

最初に「紙垂」を各自二枚製作し、続いて講師の百瀬茂敏さんの指導で「おやす」と「輪締め」を製作した。参加者の中には、初めての経験で慣れない人もいたが、一人の講師の塩原和男さんも各自製作している所を巡回指導し、全員が完成することができた。

参加者は「難しいが作ることに楽しかったのでまた参加したい」と笑顔。

夕刻には塩尻星の会の指導で星空観察会が行われた。秋から冬の星座や今日の夜空の説明後に、運動広場駐車場に移り、望遠鏡で星の観測をした。寒空であったが、望遠鏡では月、土星、木星、スバルの星々が良く見えた。

鎖川

古来日本には、15日ごとに美しい季節が訪れるとされ、二十四節気という気候区分がある。農耕国日本では、自然との共生を前提とし、日々空を見上げて天候に敏感にならざるを得ない生活を繰り返してきたのであるが、近年になりこの季節感が全く当てにならなくなってきた。

地球温暖化から地球沸騰化とまで言われ、世界的な問題としてその防止に世界中が躍起となっているものの、これといった有効な手立ては見いだせないでいる。

最近、こうした異常気象に対して漠然とした不安に駆られる「気象不安症」が世界11か国の16〜25歳の若者を対象とした調査で世界的に広がっているとのことだ。

「過去に経験したこと無いような豪雨…」といった気象予報を違和感もなく聞き流すだけでなく、災害から命を守るために日頃からの備えを怠らないようにしたい。



神林ボランティア連絡会 赤十字歴史資料館を見学

今にも降りそうな空の11月29日(水)、神林ボランティア連絡会(73人)の18人が市バスで長野市にある長野県赤十字歴史資料館へ、コロナ禍で3年ぶりの研修旅行となった。11時に到着し、早速関文博館長の挨拶後ボランティア案内係の堀内房子さんによると、明治10(1877)年に前身の博愛社として設立された日本赤十字社は、各県で「支部」の設置に取り組んだ。長野県では全国に先駆け明治22(1889)年県庁内に支部を設置、明治32(1899)年にこの地に「長野支部事務所」

看護婦養成所」を建設し、赤十字理念の普及と拡大の拠点となった。

その面影を出来るだけ再現し、平成20年4月1日に開館の運びとなっている。

資料館に入ると日本赤十字初代総裁の小松宮彰仁親王の書の前で記念撮影をしたが、床の間にあつた当時派遣された救護班の遺髪袋は、救護班が活動に当たると、もしもの時に備え残した物で、参加者の関心が高かった。庭中央に高さ5メートルの「殉教救護員の碑」も関心を集めていた。ボランティア連絡会会長の塚田昌明(川西)さんは「歴史ある赤十字資料館の数々に触れ感無量です。有意義な見



学会になりました」と話した。一行はこの後小布施町の北斎亭で「茶御膳」に舌鼓した後、三々五々にミュージアム中島千波館、高井鴻山記念館などを見学し4時30分に帰着した。

JICA 駒ヶ根 視察研修

12月7日(木)、15名の参加で神林地区人権啓発推進協議



会視察研修が行われた。

「国際協力機構(JICA)」は政府開発援助の実施機関の一つで、開発途上地域等の経済及び社会の発展に寄与し、国際協力の促進に役立つことを目的としている。海外ボランティア派遣制度の「青年海外協力隊」は1965年に当時の海外技術協力事業団の一事業として発足し、JICAに引き継がれている。協力隊員の派遣前訓練の為「駒ヶ根青年海外協力隊訓練所」が

1979年に開設された。職員の方に事業の概要や取り組み・訓練について説明を受け、施設内を案内してもらった。70日間の合宿制で個室だが、一部共同。赴任する国の公用語の学習、文化や国内事情の講座を受け、試験のある公用語の学習は大変そうだった。

次に伊那谷の養蚕文化の歴史や製糸業が発展するに至った道具・機械を展示した「駒ヶ根シルクミュージアム」を見学し、帰途に就いた。

キーワードはなに?

本紙神林版の記事内にキーワードの文字が散りばめられています。見つけて言葉にしてください。

わかった方は神林公民館に備え付けの用紙に必要事項を記入してご応募ください。アンケートにお答えいただいた正解者の中から抽選で**5名に500円分の図書カード**をプレゼント!締切は**2月22日(木)**、当選発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。多数のご応募お待ちしております!

【前回の答え】 **おなあらい** 【今回のキーワード】 ○○○○○

ハタチの皆さん

おめでとうございます!

神林地区では61名が今年度20歳となります。

皆さんのご活躍をお祈りいたします。

宝くじの助成金で整備

【川東公民館】

川東公民館は昭和46年に建築され、各種公民館事業の拠点施設として活用されてきましたが、老朽化による不具合が各所に見られ、地震による倒壊の危険性も指摘されていました。

本年度、一般財団法人自治総合センターの宝くじ社会貢献広報事業の助成を受け改築されました。

事業概要

- 事業助成 一般財団法人自治総合センター
コミュニティ助成事業(コミュニティセンター事業)
- 事業費 6,131万円 ○助成額 1,500万円
- 建物概要 木造平屋建て 建築面積124.79㎡
段差解消、トイレ洋式化他
耐震基準以上の強度を確保

